

議会だより

No.157

☆6月定例会	16
☆5月臨時議会	17
☆議案等の審議結果	17
☆一般質問	18
☆活動報告	21

発行 麻績村議会
編集 議会編集委員会
〒399-7701
長野県東筑摩郡麻績村麻3837番地
電話0263-67-3001
FAX0263-67-3094

6月定例会

6月定例会は、6月5日から12日まで8日間の会期で開催された。

地球温暖化防止やエアコン等の使用による節電の観点から、上着やネクタイの着用を個人の判断とするクールビズ対応で行った。

本会議第1日目は、諸般の報告として例年同様に・聖高原リゾート(株)・(株)聖高原管理センターの経営状況に関する報告と、令和6年度の一般会計における繰越明許費計算書報告と議員派遣結果報告がなされたあと、

- ・令和7年度補正予算 3件
- ・その他の案件 1件

の計4件が一括上程された。

本会議終了後、議会全員協議会を行い、上程した議案等の詳細説明を提出者から受けた。

地上権設定契約者の長期にわたり地代を滞納している者に対し、地上権設定契約に基づく権利解除を法的行為により行うための「聖高原別荘地

上権に関わる訴訟の提起について」等を行った。補正予算は一般会計において総務費では4月の人事異動に関する人件費、空き店舗等活用整備事業関係経費、定額減税不足額給付関係経費等の増額を、衛生費では委託料、負担金補助及び交付金の増額補正を行った。補正額は28,200千円の増額で歳入歳出総額は3,060,200千円となる。

本会議2日目の10日には、一般質問を行い、6名の議員が村政の執行状況や今後の方針について報告、説明を求めた。

現在建設中の福祉施設の完成後の運営方法、観光政策の現状と課題、有害鳥獣対策、農業振興の現状と課題、対策、国・県道整備の進行状況についてなど多岐にわたる質問がなされた。

11日には議員全員で、村内外の完成施設及び建設中の施設の視察を行った。

本会議3日目である12日には、第1日目に上程した議案等4件について審議・採決等を行い、すべての案件で全員賛成により原案のとおり可決した。

また議員発議による高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める意見書の提出、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の提出、さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める意見書の提出、カリキュラム・オー

バーロードの改善を求める意見書の提出について可決された。



着々と建設が進む福祉施設

諸般の報告

- 第13期聖高原リゾート株式会社社の経営状況に関する書類の報告について
- 第53期聖高原管理センターの経営状況に関する書類の報告について

- 令和6年度麻績村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
- 議員派遣結果報告

請願・陳情等の委員会付託

- 高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める陳情
- 義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願
- さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める意見書の採択を求める請願
- カリキュラム・オーバーロードの改善を求める意見書の採択

令和7年度補正予算

- 一般会計補正(第1号)

- 麻績村簡易水道事業会計補正(第1号)
- 麻績村下水道事業会計補正(第1号)

その他

- 聖高原別荘地地上権に関する訴訟の提起について

議員発議

- 高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める意見書の提出
- 義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の提出
- さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める意見書の提出
- カリキュラム・オーバーロードの改善を求める意見書の提出
- 議会議員の派遣

5月臨時議会

北山地区において水道施設整備事業が進められており入札の結果、工事請負契約の仮契約が締結された。地方自治法第96条第1項第5号の規程及び議会の議決の付すべき契約及び財産に取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、5月13日に臨時議会が開催され可決された。

議会の個人情報情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について、麻績村行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例の一部を改正する条例についての専決承認を行った。

なお、一般会計第9号補正により、令和6年度の最終予算額は32億7650万円となり、当初予算額より4億円ほど増額となった。



完成した明治町地区集合住宅
(名称：サンパレスひじりA)

利用施設「あづみ野ランド」とごみ焼却現場を視察。



リニューアルオープンした
「あづみ野ランド」

レーニングルームが新設された。施設組合本棟の中にある「ごみ焼却場」は最新鋭の機械、設備と管理体制により、1日120tのゴミが処理されている。その後、戻って村内の施設や現場を視察。完成した市野川浄水場、明治町（聖高原駅前）の集合住宅、完成に向け建設が進む「福祉施設」を順次視察して回った。

議会会期中の6月11日、村内外の完成後の、また現在建設中の施設等を巡回、視察した。



新設されたトレーニングルーム

6月11日

村内外の視察

【議案等の審議結果】

* 案件名称のうち、「麻績村」は省略します。

6月定例会

案件 種別	議案 番号	名 称	議員名と賛否					
			塚原利彦	宮下 朗	茂木泰男	飯森寛志	宮川秀俊	清水 清
議案	議案1号	聖高原別荘地地上権に関わる訴訟の提起について	○	○	○	○	○	○
議案	議案2号	令和7年度 一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○
議案	議案3号	令和7年度 簡易水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○
議案	議案4号	令和7年度 下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○
発議	発議1号	高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○
発議	発議2号	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○
発議	発議3号	さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○
発議	発議4号	カリキュラム・オーバーロードの改善を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○
発議	発議5号	議会議員の派遣	○	○	○	○	○	○

一 般 質 問

質問事項

塚原 利彦

- 聖博フェスティバルについて
- 新福祉施設の完成後の業務運営について
- 村長就任以降の、筑北村との連携・協力について

宮下 朗

- 観光政策の現状と課題について
- J R聖高原駅とデマンドバスの利用状況と課題について
- 申請書等自動作成システムの導入について

茂木 泰男

- 福祉施設等の運営について
- 農産物直売所内の観光案内所の位置づけについて
- 職員の採用と適正勤務配置について
- ふるさと納税の現状について

飯森 寛志

- 第7次振興計画農業の進行状況について
- 有害鳥獣対策について

宮川 秀俊

- 助成事業（補助金活用）の利用状況は
- 終活情報登録事業について
- 里山整備と情報発信について
- コメ不足について

清水 清

- 村内の道路改良（国・県・村）について
- 農業政策 地域計画について
- 中山間直接支払い制度について

聖博物館の戦闘機、戦艦主砲等の 維持管理はどう考えるか

現時点では、展示して最大限活用していきたい

問 聖博フェスティバルについて、このイベントの開催目的は。
答 聖高原の誘客に向けた取り組みの一つで博物館にある展示物等を最大限活用し、多くの皆さんに聖高原へ来ていただき、博物館と合わせ、他の施設も利用をいただき観光収入の向上に繋がればと計画した。
問 実際に担当されたボランティアグループの方々は、どのような経緯があったのか。
答 多数の展示品を備えている博物館ならばもっとPRしたらどうかといったボランティアの方々からの声があり、ご協力、協賛もいただく中で行ってきた。ただイベントの実行主体は、ボランティアではなく村が主体である。



塚原 利彦 議員

陸奥の主砲の脇には展示の目的が標記されているが、今回のイベントの企画・計画に関してボランティアの皆さんも、展示の目的は認識しているのか。
答 認識しているのではないかと感じている。
問 この展示物の目的は、「平和に徹する信念を培うため」とされているが、子供たちを戦闘機の操縦室に試乗させるのは、違和感を覚える。この点をどう考えているのか。
答 国土や国民を守る組織の活動を、子供たちも理解をしていただいていると思う。児童・生徒たちも学習活動の中で、博物館の設置された意義や平和に対する理解が深まっているのではないかと考える。
問 戦闘機や戦艦の主砲の今後の維持管理は。
答 戦艦主砲は借り物で、戦艦主砲は買取りした物。今後、考えが違えば皆さんが出てくれば違う方向に進むかもしれないが、現時点では最大限展示物として活用を続けていきたい。

体験型観光に対する村の考え方は

民間とも連携し、 体験プログラムを企画・PRしたい

宮下 朗議員



問 コロナ禍が収束し県内の観光地の多くは利用者が増加傾向にあるが、聖高原の利用者の数の推移はどのようになっているか。

答 令和6年度の聖高原の利用状況は、リフトが対前年比33・1%増、キャンプ場23・1%減、博物館33・3%増、釣り14・1%増となっている。

問 昨年オートキャンプ場がオープンしているが、来場者は減少している。この点についてはどのように考えているか。

答 オートキャンプ場については、オープンが8月になった事と天候不順の影響もあり、来場者が予想より少なかった。今後SNS等を利用してPRに努めたい。

問 インバウンド需要の拡大で、麻績村を訪

れる観光客が、自然や伝統文化を体験したいという需要が増えていると聞くが、村の体験型観光の現状は。

答 体験型の観光としては現在、航空資料館においてD51搭乗体験戦闘機のコックピット体験が行われている。先日、スキー場で開催されたイベントでは、インド料理体験教室などが行われている。今後は、使用を休止している別荘を使ったセルフリノベーションワークショップや、元気づくり支援事業を活用して、別荘暮らし体験を考えている。

問 信濃観月苑や善光寺街道、麻績神明宮、副満寺など、聖高原以外の施設の観光利用についての考えは。

答 信濃観月苑では各種催し物の情報を『月の館通信』で発信している。他の施設については、観光課以外の管轄になるので、役場だけでなく民間とも連携し、体験プログラムを企画・PRしていきたい。

新規建設中の「福祉施設」の 運営方法について

将来的な運営を研究する

茂木 泰男議員



問 現在建設中の福祉施設やまほうしは、障害者総合支援法等いろいろ定義はあるが村としてはどのような方向を目指しているのか。

答 就労施設とか生活介護施設として運営する事も検討し、専門職員を配置した村直営の施設や福祉事業所へ委託するのも含めて将来的な運営を研究し、利用者に不便をかけないように考えている。

問 福祉施設完成後は地域活性支援センター事業の実施、検討とあるが村の考えは。

答 障害者の居住の現場確保への取組は現在利用者の居場所、活動場所として運営しており、新規施設も継続しつつ方針を研究していきたいと思う。又、筑北三村自立支援協議会でも居住関係の課題をはじめ、取り巻く環境が様々な課題の話合いが持たれている中、新たな施設整備に併せて、

村での取り組みべき事も検討して行きたいと考えている。

問 その場合、障害者福祉サービス事業所の品質向上のために、障害者総合福祉法により配置が義務づけられているサービス管理責任者の配置の考えは。

答 就労施設や生活介護施設として運営して行く場合は事業所としてサービス管理責任者等々、要件が必要になる。又、運営形態により人員配置、どのような職種か専門職が必要かと併せて検討し、不足のない様に考えている。

問 障害者福祉計画等において、新規福祉施設完成後に地域活動支援事業の実施を検討とあるが。

答 少なくとも現在の活動が引き続き行える施設を目指しており従来の形態を継続出来ると考えている。

問 障害のある人の生活基盤、環境について問う。

答 居場所、活動場所として山ほうしの運営を新施設でも継続しつつ、自立支援協議会等で居住環境の課題や、新規施設整備に向けて村でも取り組んで検討して行く考えている。

ふるさと納税返礼品の 日本酒原料酒米作付けについて

適切なバランスを取り推進していく

飯森 寛志 議員



問 令和6年度未耕作
耕作エリアの面積、農
地活用状況は。

答 令和6年度の未耕作
エリア、耕作エリア
の割合は、農地全体約
600haのうち、40
0ha(約67%)が耕作
地として活用されてお
り、残る約200ha(約
33%)が未耕作地です。
耕作地の内約233ha
を水田が占め、主食用
米約101ha、飼料用
米約6ha、麦約10ha、そ
ば約7ha、酒米約10ha、
その他野菜自己保全管
理などは約108haと
なっている。近年は特
に麦の栽培が増加傾向
にある。

問 耕作の中で酒米が
約1haあるが、昨年と
比べどの程度増えてい
るか。

答 令和6年度は約1
haであるなかで本年は
少しでも酒米を増やし
ていきたい意向はある
が、令和7年度の水田

の状況は現在取りまと
めている状況で確かな
数値は確定していない。

問 酒米は、麻績村の
ふるさと納税返礼品の
日本酒の原料でもあり、
この酒米に関して行政
の考え方、支援策で今
後の作付けにどのよう
に関わっていくのか。

答 酒米栽培の考え方
は、昨今の全国的な米
の供給不足といった問
題もある中で、現在は
酒米に対する直接的な支
援策はないが、今後は
効果的な支援対策の導
入可能性もじっくり模
索、検討していく。

問 南信エリアでは1
反歩当たり交付金を出
している自治体もあり、
行政としても、J Aと
の連携もあるが、政策
を進めていく中で交付
金に関しての考え方は。

答 あくまでも酒米に
ついては委託栽培とい
うようなことが根底に
あり、酒造りの業者さ
んと提携の中で、単価
で交換の酒米をという
ような量とか、そうい
うものが指定されてい
るのではないか。ただ
現状の中では酒米だけ
に対しての支援策につ
いてはまだまだ協議が
必要ではないかと思っ
ている。

終活情報登録事業について

制度の運用を確認しながら 検討していきたい

宮川 秀俊 議員



問 高齢者の一人暮らし
が増え、なかには親
族と疎遠になっていた
り、全く身寄りのない
人もいると思うが支援
策は。

答 身寄りのない方に
限らず、村の包括支援
センターや社会福祉協
議会などへ、生活の不
安や困難などについて
様々な相談が寄せられ
ている。その際に、居
宅サービス、デイサー
ビスなど必要に応じた
支援につなげている。
また、村民の生命財産
を守る観点から金銭管
理の事業、成年後見制
度の活用、一人での生
活が困難な場合には、
養護老人ホームへの措
置入所、介護度が上が
ってくればサン・ライ
フなどの特養老人所へ
つなげている。それぞ
れ必要に応じた支援を
行っている。

問 終活にあたりエン
ディングノート、家族
信託の活用、さらには

認知症が進むと、成年
後見人制度の利用も考
えられるが状況は。

答 認知症、知的、精
神障がいなど判断能力
が不十分な方の権利を
守るためのものだが、
村で支援し支援できる
範囲では、裁判所によ
り選定される法定後見
を7名の方が利用され
ている。親族からの後
見制度の申し立て、申
請に関して支援も行っ
ている。

問 松本市は県内いち
早く、終活情報登録事
業をスタートさせたが、
独り暮らしの高齢者支
援策として有効な方策
だと思うが、制度導入
についての考えは。

答 自身に万一のこと
があった場合に備えて、
終活に取り組んで準備
をしている内容や、死
後に家族等に開示した
い内容などを終活情報
として自治体に登録で
きる制度だ。村が大切
な情報を預かることは
ある程度有効かと思
うが、制度が家族の関
係性を壊すようではい
けない。実際、松本市
でどのような運用にな
るか制度の内容を確認
しながら検討してい
きたい。

村内の道路改良について（国道・県道）

現在・計画通り整備を進めている 今後においてもより推進に努める

清水 清議員



- 問** 国道403号、下井堀公民館付近より下井堀西間、850mの事業の進捗状況は。
- 答** 所管する松本建設事務所からの回答により報告。令和6年度までに地形測量、道路詳細設計、路線測量、地質調査、用地測量は実施済みとなっている。
- 問** 令和7年度事業はどの様な事業内容か。
- 答** 主に物件調査を実施し、補償、用地交渉を進める予定。
- 問** 工事の着手と完成年度の見込みは。
- 答** 工事着手は令和8年度より行い完成年度は令和12年度目標としている。
- 問** 下井堀西から下田中島橋までの改良計画はされているか。
- 答** 村からも強く要望はしており、必要性は十分認識されているとの事。先線については未確定要素もあり、現段階では、申し上げられない。
- 問** 本町交差点付近から聖湖方面の改良について、進捗状況は。
- 答** 梶浦地籍で一部改良済みであり既に用地買収が終了しているところから一部工事に着手しており、本町交差点付近は上・下線共に右折レーンが設置される。両側に一部歩道整備する予定。
- 問** JA周辺から本町交差点までの歩道整備の見通しは。
- 答** 現時点では、村内の国道改良工事に着手しており、その工事に目途が立つたら、この歩道設置整備の計画を予定していく予定との回答であった。
- 問** 丸子信州新線本町地域内の改良工事の状況について、大変見通しが良くなったが、完了年度はいつか。
- 答** 残区間の延長80mである。令和8年度の完成を目指している。

私たちはこんな活動をしています

5月

- ・議会運営委員会
- ・東筑議長会臨時総会
- ・第2回臨時議会
- ・例月出納検査
- ・定例連絡会
- ・町村議会議長・副議長研修会
- ・篠ノ井線松本地域活性化協議会総会
- ・安曇野防犯協会総会

6月

- ・町村議会議長会臨時総会
- ・松くい虫防除対策協議会
- ・有害鳥獣駆除対策協議会
- ・「サマーナイトフェスティバル」実行委員会
- ・定例議会
- ・議会全員協議会
- ・社会文教委員会
- ・議会現地視察
- ・青木・麻績インター新町間県道整備促進期成同盟会総会監査
- ・塩筑地域包括医療協議会監査
- ・例月出納検査
- ・社協評議委員会
- ・造林委員会

7月

- ・松本広域連合議会臨時会
- ・塩筑地域包括医療協議会総会
- ・松塩筑木曾老人福祉施設組合議会臨時会
- ・大町麻績インター千曲線整備期成同盟会総会
- ・地域高規格道路松本糸魚川連絡道路建設促進期成同盟会総会
- ・町村議会議員研修会
- ・議会だより編集委員会
- ・青木・麻績インター・新町間県道整備促進期成同盟会総会
- ・国道403号道路整備期成同盟会県への要請活動
- ・決算審査
- ・例月出納検査
- ・定例連絡会
- ・議会運営委員会

編集委員

峯村 賢治
飯森 寛志
宮川 秀俊
清水 清